

看護協会だより

看護ぎふ

Vol.103

KANGO GIFU 2022.10.31



中秋の名城 岐阜信長城(岐阜市) 撮影：山田寛之

美しい月と岐阜が誇る名城を見て、少しでも癒しを感じていただけたら嬉しいです。

CONTENTS

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ◆理事会報告 …………… 2 | ◆特定行為研修修了者の活動報告 …………… 9 |
| ◆重症心身障がい児者看護人材育成研修 …… 2 | ◆看護の日 岐阜県大会 …………… 10 |
| ◆各支部活動報告 …………… 3～5 | ◆リフレッシュタイム …………… 11 |
| ◆ふれあい看護体験 …………… 6・7 | ◆お知らせ …………… 12 |
| ◆会員入会・継続のお知らせ …………… 8 | |



■発行/令和4年10月31日 公益社団法人 岐阜県看護協会
岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階
TEL.058-277-1008 FAX.058-275-5300
URL: <https://www.gifu-kango.or.jp/> E-mail: gifukango@gifu-kango.or.jp
■編集責任者/青木 京子 ■印刷/株式会社イナハ印刷社

理事会報告

令和4年度 第4回理事会 令和4年9月15日(木)

□ 決議事項

第1号議案 令和4年度会員入会の承認について(承認事項)

承認会員数 635名(承認後会員数 12,482名)

第2号議案 公益社団法人岐阜県看護協会 育児・介護休業規程の一部改正について

第3号議案 令和4年度補正予算について

○すべての議案は承認、可決されました

重症心身障がい児者看護人材育成研修

令和3年9月18日に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、保育所・学校等ではこれまで以上に看護職の人材育成・確保が求められています。継続的な医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者等が増加する一方で、現場でケアを提供する看護師は不足しており、岐阜県看護協会では「重症心身障がい児者看護人材育成研修」を実施しています。

医療的ケア児支援センター
重症心身障がい在宅支援センター



今年で9年目を迎える『重症心身障がい児者看護人材育成研修』は、病院・診療所、訪問看護、幼稚園・学校の教育機関、福祉施設など、重症心身障がい児者に関わる領域の看護職を対象に12日間実施しており、これまでに延べ250名の受講生が修了しています。

本研修は、重症心身障がい児者やその家族を支援するための看護の知識・技術を高めるとともに、本人・家族に対する心理的ケアや在宅移行を支援する際に多職種との連携ができる看護人材を育成することを目的としています。研修には、様々な施設に所属する看護職が受講しており、受講生同士のネットワークづくりにもなっています。

また、当協会に設置している、医療的ケア児支援センター／重症心身障がい在宅支援センターみらいでは、①家族や支援者の相談窓口 ②ネットワークづくり(家族交流会・機関誌等) ③人材育成 を3つの柱として、岐阜県全域で活動しています。重症心身障がい児者／医療的ケア児を地域全体で支えるためにできることを一緒に考えましょう。



昨年に引き続き、NHK岐阜放送局の取材が入っています



シミュレーターを使用した演習もしています

岐阜北支部

岐阜市の長良川以北、山県市、本巣市、北方町

支部長 伊藤 稔子
岐阜清流病院

9月10日(土)に支部研修会を開催しました。ハイブリット開催となりましたが、講師の橘行信住職の講話は現場の看護職にいい刺激となり、貴重な機会となりました。今年度は施設看護職代表者を年3回、支部研修会を2回開催予定です。10月2日(日)には、地域主催の催しへの参加を行い、専門看護師・認定看護師による看護相談を実施しました。看護職の施設代表者会議では有意義な会議となるよう事前に協議するテーマを決めて参加することとしました。また、タイムリーに情報共有や自施設の課題解決の糸口をみつけることができるよう情報共有ツールを活用していきます。第2回支部活動では、患者のACPについて施設や地域との連携をテーマに研修会を開催します。写真は、第1回支部研修会と支部役員会の様子です。いろいろ形を模索し、検討しながら新しい取り組みを取り入れ、病院・施設・地域連携を強化していきたいと思います。

微力ではありますが、役員7名で力を合わせ、岐阜北支部の会員・非会員の方々の「つなぎ人」となれるよう取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。



岐阜南支部

岐阜市の長良川以南、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町

支部長 田口 路代
岐阜県総合医療センター

岐阜南支部では、8月18日(木)に施設代表者会議を開催しました。当初は集合での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により、オンライン開催としました。13施設15名の参加者と青木会長、細井専務理事にご参加いただきました。今年度の診療報酬で改定された「感染対策向上加算」を中心に、自施設の現状と課題とともに、地域連携のあり方について情報共有や意見交換を行いました。「職員の感染者が多くなり疲弊感がある」「感染対策については平常時からの連携が必要」「withコロナとして幅広く活躍できる人材育成が課題」など多くの意見が出ました。また、昨年度開催が中止になっていた「感情労働とバーンアウト」の研修会を、三重大学大学院医学系研究科看護学専攻准教授桐山啓一郎氏を講師に9月24日(土)にオンライン開催しました。

新型コロナ感染症が蔓延する中で、今後も工夫しながら活動していきたいと思っています。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



西濃支部

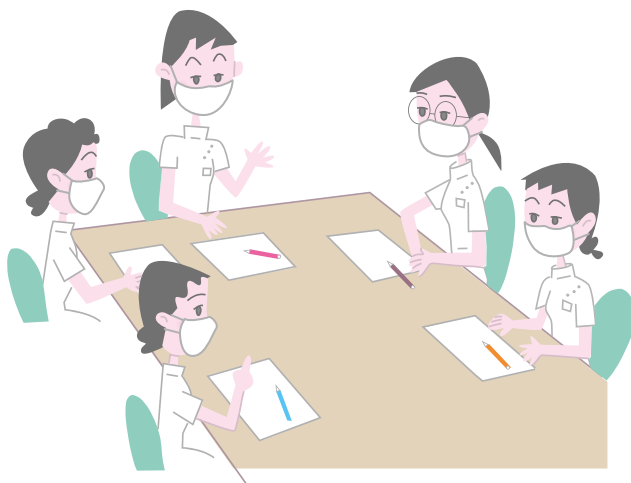
大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、
輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町

支部長 宗宮 知香
揖斐厚生病院

西濃支部では第1回支部集会として、7月16日(土)にリフレッシュ研修「笑いヨガ ～にもかかわらず笑う～」をテーマに企画していましたが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、急遽中止となりました。次回は11月19日(土)「地域包括ケアシステムにおける看看連携の課題を共有する」というテーマで、役割が異なる各施設の看護師の連携における課題を発表・共有する研修を企画しました。さらに令和5年2月18日(土)「災害時にどう地域を守るか考えよう!」というテーマで、災害時についても地域との連携が必要と考え企画しました。

また、9月17日(土)にWEBで開催した施設代表者会議では、看護協会重点事業のひとつである看護職の役割拡大と人材活用の推進に関して特定行為研修修了者についての情報交換を行いました。西濃地域では特定行為研修修了者の活躍が病院内に留まっており、本来の在宅医療を支えるといった目的を果たすには、多くの課題がありました。

このような研修・情報交換を行い、地域包括システムの構築、看護師の役割拡大に向け支部活動を行っていきたいと思います。



中濃支部

関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、
川辺町、七宗町、八百津町、白川町、御嵩町、東白川村

支部長 渡邊 よし子
中部国際医療センター

中濃支部では、7月2日(土)に第1回施設代表者会を行いました。支部集会はこの施設代表者会議をもって代えました。施設代表者会は、青木協会長、鷲見常務理事にご参加していただき、計24名の参加者でした。会議では、2023年以降2045年までの支部役員の輪番表の改正、各施設代表者からの施設紹介・自己紹介を行い、その後面会制限の状況、看護学生の実習受け入れ状況を情報共有しました。

9月3日(土)には、飛騨千光寺住職大下大圓先生をお招きし、リフレッシュ研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルス第7波感染拡大のため止むを得ず中止いたしました。

支部役員会では、今後施設代表者会議で「地域連携」をテーマとした意見交換を「郡上」「関」「可茂」の3つの地域に分かれ行うことを検討しました。これを11月に開催予定の施設代表者会議にて検討予定です。

来年2月には、訪問看護ステーション連絡協議会中濃ブロックとの共催による研修を実施する予定です。



東濃支部

多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

支部長 中嶋 一二三

東濃厚生病院

東濃支部では、一昨年より集合型の研修を延期、中止していましたが、7月2日(土)に支部集会および研修会を集合型で開催しました。中部脳リハビリテーション病院・中部療養センターの音楽療法士・公認心理師である奥村由香先生を講師にお招きし「音楽療法DEリフレッシュ」をテーマに行いました。感染対策上、人数を制限したなかではありましたが、3年ぶりに集まることができ感慨深いものがありました。参加者からも「リラックスできた。癒された」「会場のみんなど心が繋がれた。幸せな時間を過ごせた」との声が聞かれ、コロナ禍での疲れた気持ちをリフレッシュすることができました。

10月1日(土)には患者・療養者の意思決定を支える連携における課題について共有するための研修会を行いました。地域包括ケアを推進するうえで、医療機関、地域施設等との連携は欠かせません。地域でつなぐ意思決定支援における現状、問題、課題を共有するとともに、顔の見える関係性づくりに役立てるための機会になればよいと思います。



飛騨支部

高山市、飛騨市、下呂市、白川村

支部長 都竹 智香子

高山赤十字病院

7月9日(土)に支部集会と研修会を開催しました。コロナ禍で、集合での開催ができない時期が続きましたが、今回は感染対策を行いながら、集合型で開催しました。集会終了後、岐阜保健大学講師の小野悟先生にお越しいただき「ストレスマネジメント」の研修を実施しました。看護師が心身ともに生き生きと健康的に働きつづけていくために、日々のストレスに対して上手に対応できる方法。ストレスに柔軟に対応するレジリエンスを意識して、互いに高め合えるチームとしての行動ができることを目的に講義していただきました。9月9日(金)には、施設代表者会議をオンラインで開催しました。コロナ禍でもオンラインで開催できるようになり、新たな連携の方法となりました。15施設の代表者の方に参加していただき、それぞれのお立場での困難や工夫等を話していただきました。病院、施設、訪問看護、学校、開業医等様々な現場での状況を情報共有しました。広大な地域の住民を支えている看護職同志が、今後も交流できる場を提供していきたいと思います。





岐阜大学医学部附属病院

「現場の声を聞いて」

岐阜県立岐山高等学校 萩野 亜実

実際に体験ができなかったのは残念でしたが、インターネットで調べるだけでは分からないリアルな現場の声を聞くことができ、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。お話を聞く中で、皆さんが自分の役割に責任と誇りを持ってお仕事されていることが伝わってきて、自分の目標がより明確になった気がします。また、Web開催とはいえ緊張していましたが、優しく質問に答えていただけてとても安心しました。



「看護師は学び続ける」

岐阜県立岐阜商業高等学校 河口 青空

看護師という職業、看護師の役割についてなど多くの事を学ぶ事ができました。今まで、看護師は資格を取れば一人前になれると思っていましたが、資格を取ってからも専門的知識を深めるために、自己学習や研修など勉強が続く職業であることを知りました。そして、改めて大変な職業であるという事を感じました。看護師は一生学び続ける職業であるため、自分自身の成長に繋がる素敵な職業だと思いました。

鷺見病院

「ふれあい看護体験に参加して」

岐阜県立郡上北高等学校 鷺見 菜々花

食事介助では、患者さん一人ひとりに合わせて食事やお茶の形態が違うことを知りました。患者さんに声をかけながら、患者さんの食べるペースに合わせて介助を行いました。患者さんとコミュニケーションをとる際に、聞き取れないことや、伝わらないことがあり難しかったです。しかし看護師さんは患者さんに寄り添ってコミュニケーションをとっていて、かつこよくてすごいなと思います。一日中立ちっぱなしで忙しく働く看護師さんは大変だなと思いました。看護師さんは患者さんが元気に退院していく姿をみる

時や、感謝の言葉をかけられた時に、すごく嬉しいと話してみえました。仕事が大変だけでなく、その瞬間にやりがいを感じる事ができるのだなと思いました。毎日患者さんのために一生





懸命働いている看護師さんの姿を間近で見ることができ、看護師になりたいという気持ちが強くなりました。貴重な体験をありがとうございました。

中津川市民病院

「看護師と患者さんの関わり」

岐阜県立恵那高等学校 北原 美菜

今回の体験を通して、看護師は患者さんと密接に関わる仕事だなと感じました。車椅子、エアストレッチャー体験、院内見学で、患者さんの安全や気持ちに気を配ることが大切だと学びました。特にエアストレッチャー体験では、患者さんの恐怖感を少しでも失く



すように足元から引っ張るといったような細かな気配りも学びました。患者さんの体調管理、介助、救命、手術など重要な仕事をしているのだとわかりました。これからの日常生活でいろいろな人と話をして、いろいろな考えに触れ、コミュニケーション能力を高めたいです。

東海中央病院

「患者さんの笑顔を引き出す仕事」

岐阜県立岐阜北高等学校 小森 有真

足浴、血圧測定、聴診器、車椅子、ストレッチャー、とろみ、ミトンの体験をしました。

血圧測定では、普段の血圧のプラス10ぐらいの圧力をかけなければならなかったり、とろみをつける時は、弱・中・強の調節をすると言っていたので、看護師さんは本当に患者さんのことが分かっていないとできない仕事だと改めて感じました。

また、93歳の患者さんの足のむくみを心配して、足浴をする看護師さんや、満面の笑みで喜ぶ患者さんを見て、私も将来、こんな風になりたいと強く思いました。



2022年度の入会手続きはお済みですか？

入会希望の方や申込書の不足等は、岐阜県看護協会事務局までお問い合わせください。

2023年度の入会・継続手続きが11月より始まります

9月初旬までに2022年度の会費を納入された方には、10月下旬より『2023年度継続のお知らせ』を順次発送いたします。9月以降に納入をされた方は、12月より順次発送の予定です。

継続のお知らせが届いたら？

開封し「会員情報変更届」を確認

変更あり

キャリアースで変更申請、
または変更届に訂正箇所
のみ記入し提出

- ・改姓、住所変更
- ・改姓に伴う口座名義変更
- ・施設変更 など

変更なし

変更届の提出不要

※施設会員の方は同封の封筒に入れ
施設のとりまとめ担当者へ提出

※個人会員の方は同封の封筒へ入れ
切手を貼ってポストへ投函

担当者



●2023年度 新規・再入会をされる方へ●

岐阜県看護協会より各施設へ、入会申込書を11月より順次発送いたします。
施設代表者に入会方法をお問い合わせの上、「入会申込書」をご提出ください。
また、現在就業されていない場合は、岐阜県看護協会にご連絡いただくか、WEB入会も受付しておりますので、ぜひご利用ください。
詳細は岐阜県看護協会ホームページ「キャリアース」バナーからご確認ください。

※次年度継続入会をされない方へ※

2023年度の入会を継続されない方は「退会届書」の提出をお願いします。
(※様式は岐阜県看護協会ホームページよりダウンロード)
また、会費の納入を「口座振替」にされている方は、次年度の年会費が自動引き落としされますので、12月中に「退会届書」のご提出をお願いします。

問い合わせ先 / 岐阜県看護協会・事務局 TEL058-277-1008 ✉ gifukango@gifu-kango.or.jp

特定行為研修修了者の活動報告

①受講のきっかけ、受講しての感想

救急外来への院内救命士採用に伴い救命士の教育が必要となり、また、救急医不在の救急初療の現場では初期研修医のサポートを担うことも増えました。看護師の視点だけでは力不足であると感じ受講を決めました。研修受講後は、弱かった部分に医師の視点が加わり、より深く患者さんの全体像をとらえられるようになり、救命士や研修医との協働が以前よりスムーズになったと感じています。

②現在の活動内容

院内に特定行為看護師の活動に関する取り決めがない状態での受講修了であったため、「委員会の設立」、「マニュアル・規約の作成」、「電子カルテシステムの構築」、「研修修了後の院内研修」の決定など組織作りを他部門と協力しながら行っています。

一方、臨床では、「院内研修」の一貫として指導医の指示のもと、一部の特定行為を実践しています。

③今後、どのように活動したいか

特定行為看護師が活動できる体制を一日も早く構築して、特定行為看護師としての活動を開始したいと思います。今後は、新たに特定行為看護師を目指す後輩の育成にも尽力していきたいと考えています。そのためにも、院内で必要とされる特定行為看護師として実績を積み上げていきます。



岐阜県立多治見病院
有我 夏美



超音波



カンファレンス

【修了区分】
・クリティカルケア

令和4年度 看護の日岐阜県大会開催



開催日時：令和4年8月14日(日) 10:00～15:00

開催場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス
みんなのホール、かんがえるスタジオ

参加人数：みんなのホール (171名) 小学生21名、中学生7名、高校生6名、未就学児37名、成人100名
かんがえるスタジオ(187名) 小学生32名、中学生10名、高校生8名、大学生3名、未就学児43名、成人91名

看護職をPRするため、小中学生を主な対象としたイベントを開催し、新型コロナウイルス感染拡大の中、多くの方にご参加いただきました。

看護職以外の県民の方を対象とした看護の日イベントは数年ぶりであり、まずは、看護協会という名前を知ってもらい、楽しんで参加できるよう工夫をしました。

救急看護認定看護師らによるAED体験では、「初めて経験したが難しい」「緊急時に対応できるよう訓練を重ねることが必要」などの感想が聞かれました。白衣着用体験や、聴診器で心音や呼吸音を聞いたり、SPO₂測定など看護のまね事ではありますが、楽しんでいただけたことと思います。

AED体験



「看護の日キャラクター」



かんごちゃん

看護体験



ミニコンサート



鎌田浩史さん



濱島秀行さん

進路相談



からだを学ぼう



人体パズル
組み立て

ちびっこナース



まちの保健室



風船太郎のバルーンショー



リフレッシュタイム



『猫との生活』

名和病院 新久保 裕子

我が家には、2匹の猫がいます。オスのラブ2才とメスのキイ1才です。ラブは息子が自転車のかごに入れて帰ってきて出会い、キイは雨の中で職場の方に保護され出会いました。2匹ともすぐに家族になつき、大切な家族となりました。一番下の娘とは兄弟のような関係となり、いつも一緒におり、仕事の帰りが遅



くなっても仲良く留守番を



しています。私は帰宅時に玄関を開けた瞬間に「おかえり」「ニャー」と迎えてくれる瞬間が癒しのひと時で、心がリフレッシュします。これからも、大切な時間が続く様に家族と猫たちの健康を守っていきたいです。

『カメラ』

美濃市立美濃病院 原 章仁

私のリフレッシュタイムは、『カメラ』です。もともと、風景や食べ物など自分がいいなと思ったものをスマホで撮るのが好きだったのですが徐々に楽しくなり、自分が感じた感動をもっとキレイな画質で伝えたいと思ったのがカメラを始めたきっかけでした。

コロナ禍で思うように外出できない日々が続いていますが、私の写真を家族や友人にみてもらい、いつか自由に外出できる



ようになった時には「この写真の場所に行ってみたい、食べに行ってみたい」と思ってもらえることが今の生活の原動力になっています。



◆ 看護教育課・看護研修課からのお知らせ ◆

○ オンライン研修システム「**マナブル**」にご登録いただいていない方は、
岐阜県看護協会会員番号をお手元にご準備の上、ご登録ください。

* マナブルにご登録がないと研修会へお申し込みができません。

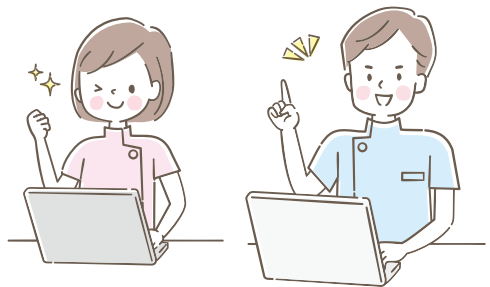
○ マナブルの個人情報(氏名・住所・所属施設)は「**キャリアース**」と連動しています。

登録されている個人情報に変更があった場合は

必ず「キャリアース」からご変更をお願いいたします

* マナブルでは個人情報(氏名・住所・所属施設)の変更ができないシステムとなっています。

「マナブル」へのご登録をお願いいたします



利用者画面リニューアルのお知らせ
 マナブルの利用者画面が変更となります。
 (2022年11月～12月予定)

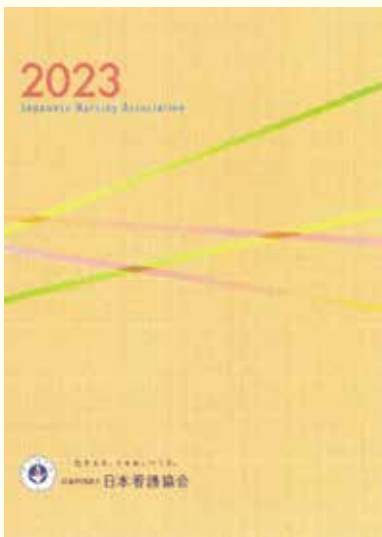
—お知らせ—

「日本看護協会 会員手帳2023」の予約注文が開始されました

ユーザーアンケートで頂戴したご意見を反映させ、ますます充実した内容となりました。
 看護職の皆様に役立つ情報が満載です!

希望される方は、岐阜県看護協会ホームページ「事務局からのお知らせ」に掲載の「申込書」をご利用いただき、日本看護協会出版会へ直接お申し込みください。

日本看護協会出版会
 TEL:0436-23-3271 FAX:0436-23-3272



今回の表紙カラーはオレンジ!

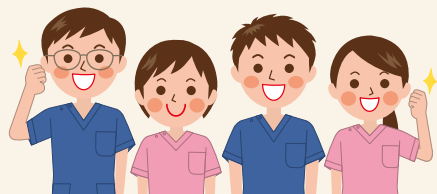


協会の動き

◆ 看護協会会員数

<令和4年8月26日現在>

| | | |
|------|-------|---------|
| 保健師 | | 337名 |
| 助産師 | | 458名 |
| 看護師 | | 11,206名 |
| 准看護師 | | 481名 |
| 合計 | | 12,482名 |



編集後記

朝晩はなんとなく涼しくなり、秋を感じているでしょうか。食欲の秋・芸術の秋・読書の秋・スポーツの秋など言われますが、皆様はどうお過ごしですか。秋の味覚が増えているこの頃、おいしいものを食べて、みのりのある時を過ごしていけたらよいと思います。

鈴木 みち子

広報出版委員会 委員長 市成 美穂
 委員 青木 久美子 村瀬 貴子 鈴木 みち子 矢野 有美